



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 鈴木修一郎
幹事 鈴木 雅之
SAA 矢代 昭雄
会報小委員長 児玉 健二

2010～2011年国際ロータリーのテーマ

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

第 2399 回 例会 平成 23 年 3 月 9 日(水・晴)

会員卓話

嵐 繁雄会員

ロータリーソング

ー今月は識字率向上月間ですー

4つのテスト
押田 行正 会員



◎会長報告 - 鈴木修一郎会長

皆さん、今日は。本日は鈴木雅之幹事と事務の金成さんが欠席されております。私にとってお二人は頼り甲斐のある方ですので欠席されると心細く感じます。さて、先程 11 時 45 分に三陸沖でマグニチュード 7.1 の震度 5 弱の地震がありました。その後 57 分に震度 3 の地震が続けてありました。ニュージーランドの地震があったばかりで留学生 27 名は不明のままとなってしまいました。非情に悲しいことになってしまったと思っています。崩れた施設もエレベーターを残し整地され嘆かわしいことだと思います。本日の会員卓話は嵐会員にお願いしました。先月に予定されていましたが本日お話をしして戴くことになりました。タイトルは「住宅の耐震について」でまさに時を得たテーマではないかと思っております。皆さんに勉強して戴き自分の家の耐震構造はどうだろうという予備知識になればと思っております。それから本日 6 時 30 分よりパスト会長会議を開催させて戴く予定です。議題は創立 50 周年記念に向かいどの様に取り組んで行くかパスト会長さんの皆様からご意見をお聞きし決定して行こうと思っています。該当されている会員の皆様には宜しくお話ししたいと思います。それと当クラブの元会員でした助川悟さんがお亡くなりになり、先日当クラブを代表して告別式に行き参りました。私からは以上です。

◎幹事報告 - 山下副幹事

・いわき四倉ロータリークラブの 3 月プログラム、いわき四倉ロータリークラブ、いわき平中央ロータリークラブ週報、昨年の地区大会記録の回覧をしております。地区



大会の記録は当日参加された方の分も届いておりますので後日お渡し致します。
・ガバナーマンスリーレターも届いておりますが、金成事務局がお休みなので来週皆さんに配りたいと思います。
・本日 18 時 30 分よりミドリにおいてパスト会長会議を開催したいと思います。ご出席宜しくお願い致します。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 峯口副委員長

本日の出席状況は下記の通り鈴木年度始めて 1 番の低出席率です。今回はメーキャップカード無しで 90 パーセントを期待したいと思います。ご協力宜しくお願い致します。それと本日は出席奨励賞がありますのでお渡し致します。松崎廣近会員、荒川義次会員前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◇スマイルボックス委員会 - 坂本博文委員

・出席奨励賞ありがとうございます。荒川(義)、松崎各会員
・3月13日の分区ゴルフ大会頑張ります。押田、高木、児玉、後藤、小熊、渡辺(勉)各会員及び渡邊公平ガバナー補佐、鈴木(修)会長、山下副幹事
・本日早退ごめんなさい。



佐久間会員

◎IMゴルフ大会ご案内 - 齊藤会員

来週 13 日に行われるいわき分区 IM チャリティー

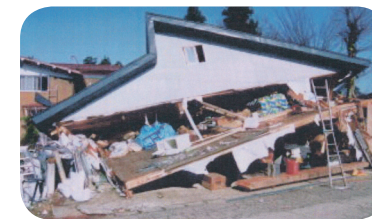
ゴルフ大会のご案内の進行状況についてご連絡致します。皆様のご協力で本日段取りが全て完了致しました。協賛にご協力戴くクレハさん、日本製紙さん、常磐共同火力さんから参加者全員に参加賞を戴くことになり素晴らしいゴルフコンペになるんじゃないかと思っております。スタートは 8 時ですが我々は 7 時 15 分までに集合となっております。チャリティーの 1 人 1,000 円は各クラブ一括納入となっております。当クラブがホストクラブですのでご協力宜しくお願いします。



震度階級と揺れの度合い

気象庁震度階級(気象庁震度階級関連解説表(平成8年2月)の参照)

震度階級	マグニチュード計測震度	普通350mm以上耐えられるように設計する	ゆれの感じ	物の揺れ方	木造家屋
0	2.5～3.4	0.0～0.8	人体には感じない、地震計に記録される程度。		
1		0.8～2.5	制止している人や、特に注意深い人のみが感じる。		
2		2.5～8	大勢の人が感じる程度。	戸障子がわずかに動く。	
3	2.5～3.4	8～25	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。恐怖心を覚える。		
4	3.5～4.4	25～80	かなりの恐怖感があり、一部に人は身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	吊り下げ物は大きく揺れ、棚にある食器は音をたて、座りの悪い置物が倒れることがある。	
5弱	4.5～4.9	80～140	多くの人が身の安全を図ろうとし、一部の人は行動に支障を感じる。	吊り下げ物は著しく揺れる。棚から食器、本が落ち、家具が動くことがある。窓ガラス割れることがある。	低耐震性住宅の壁や柱が破損するものがある。
5強	5.0～5.4	140～250	非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	重い家具が倒れることがある。棚から多くの食器、本、テレビが落ちることがある。自動車の運転が困難になる。	低耐震性住宅の壁や柱が破損し、傾く。一部地域にガス、水道が止まることある。
6弱	5.5～5.9	250～450	立っていることが困難になる。	非固定の家具が移動、転倒。ドアが開かない。ガラスがほとんど破損。	耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。高耐震性でも壁や柱に損傷が一部出る。ガス・水道に被害、停電が生ずる。
6強	6.0～6.4	450～800	立っていることができない。這わないと動くことができない。	非固定の家具がほとんど倒れる、移動する。ガラスがほとんど破損、落下、ブロック塀が倒壊。	低耐震性住宅では倒壊することもある。高耐震性でも壁や柱が大きく損傷。広い地域でガス、水道が停止、一部で停電する。
7	6.5～	800～	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動、転倒、跳ぶ。	高耐震性のものも傾いたり大きく破壊することもある。広い地域で、ガス・水道が停止、停電する。



1階を作業小屋に使用。柱、梁が飛んでいる。



壁が少なかった古い民家の崩壊



屋根が重過ぎた店舗併用住宅崩壊

いわき市が木造住宅の耐震診断希望者を募集しています 対象となる戸建木造住宅

- ・所有者が自ら居住している住宅
- ・工事着手が昭和 56 年 5 月 31 日以前にされた住宅
- ・在来軸組工法、伝統的工法、枠組壁工法等による 3 階建以下の住宅
- ・この事業による耐震診断を受けていない住宅

わが家の耐震改修の順序

1. 専門家の耐震診断を受ける
2. 専門家と一緒に耐震補強計画をする(耐震補強に伴うリフォームも検討する)
3. 専門家による耐震補強工事実施設計を行う
4. 専門家の監理の基に耐震補強工事を行う

出席状況

正会員数 57 名
本日の出席率 66.66%

修正出席率 77.08%